

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 6 卷第 34 号

第 34 週 ( 8 月 21 日 ~ 8 月 27 日 )

発行年月日:平成18年(2006年) 9 月 1 日

発行 :滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

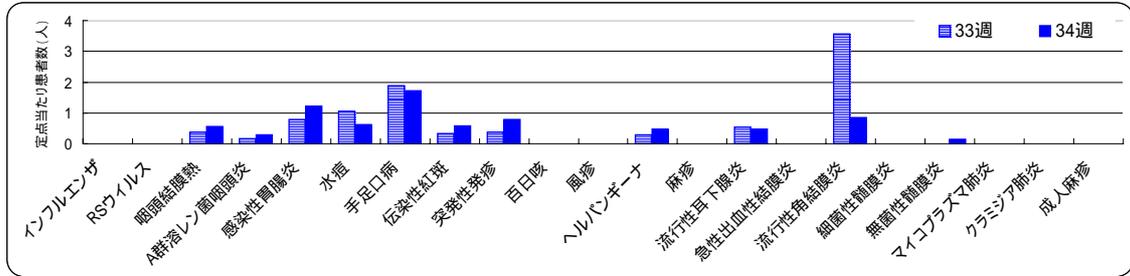
### 今週の感染症発生動向

#### 腸管出血性大腸菌感染症の発生は先週に引き続き増加

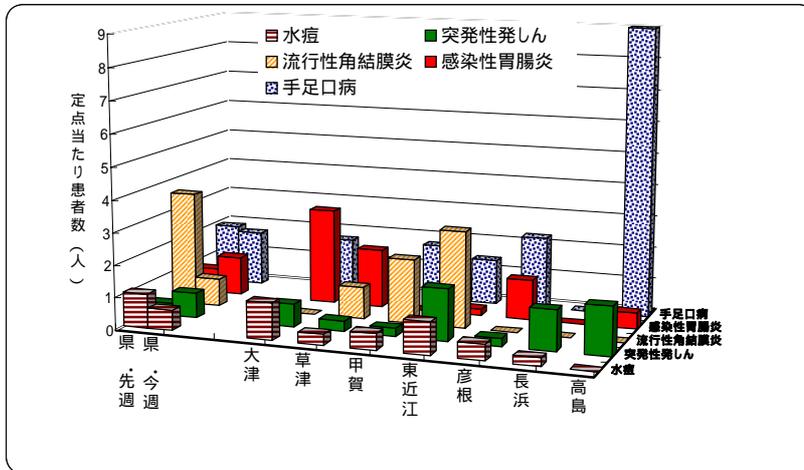
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週(8月14日～8月20日)の報告数よりやや多くなっています。増加した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、伝染性紅斑等で、減少した疾患は水痘、手足口病、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)および流行性角結膜炎です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

全数把握対象疾患では、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症6名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)

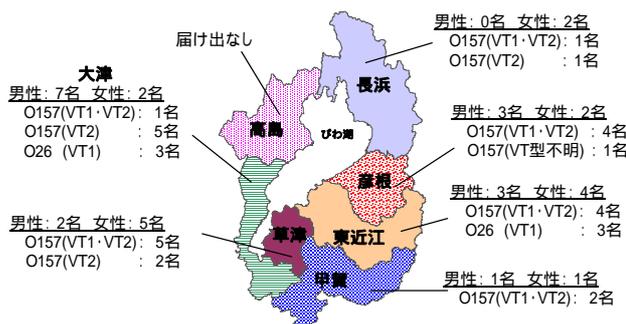


上位5疾患の保健所管内別発生状況(定点把握対象五類感染症、第34週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおりで、手足口病、感染性胃腸炎、流行性角結膜炎、突発性発疹、水痘の順に多くなっています。感染性胃腸炎は大津および草津でやや多くなっています。手足口病の発生は、先週と同様に高島で非常に多くなっています。

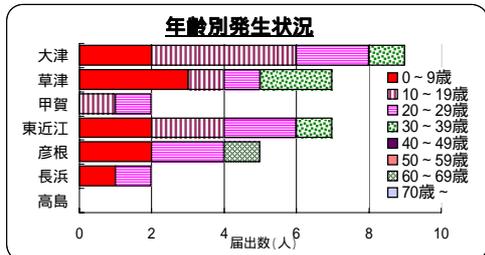
腸管出血性大腸菌感染症の発生状況(平成18年第1～34週、H18.1.2～H18.8.27、滋賀県)



月別発生状況(3～8月、人)

3月	4月	5月	6月	7月	8月	計
1	1	3	8	6	13	32

8月は8月27日現在の届出数



## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (34週)	累積報告数		平成17年報告数	
			滋賀 (34週)	全国 (34週)	滋賀	全国 <sup>(*)1</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	コレラ	0	1	37	0	54
	細菌性赤痢	0	(*)2 4	282	(*)3 7	556
三類感染症	腸チフス	0	0	52	0	50
	腸管出血性大腸菌感染症	6	32	2,241	12	3,567
四類感染症	E型肝炎	0	0	44	0	40
	A型肝炎	0	2	234	1	168
	オウム病	0	0	15	1	34
	デング熱	0	0	30	1	73
	マラリア	0	0	39	0	66
	レジオネラ症	0	10	316	3	276
五類感染症	アメーバ赤痢	0	7	474	5	680
	ウイルス性肝炎	0	0	172	2	277
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	102	2	147
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	4	83	0	60
	後天性免疫不全症候群	0	7	786	7	1,161
	ジアルジア症	0	1	64	0	81
	梅毒	0	3	387	0	555
	破傷風	0	0	68	0	114
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	44	2	65
	急性脳炎	0	1	106	2	180

\*1:平成17年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

\*2:検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

\*3:検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分3件を含みます。

### 全国における全数報告感染症の発生状況 - 第34週(8/21～8/27) -

一類感染症: 報告なし	二類感染症: 細菌性赤痢 24例 コレラ 2例	三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 169例	四類感染症: E型肝炎 1例 ライム病 1例 レプトスピラ症 1例	四類感染症: 日本紅斑熱 1例 つつが虫病 1例 マラリア 1例 レジオネラ症 6例	五類感染症: アメーバ赤痢 5例 ジアルジア症 4例 ウイルス性肝炎 4例 梅毒 4例 破傷風 3例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 10例 クロイツフェルト・ヤコブ病 1例 クリプトスポリジウム症 1例 髄膜炎菌性髄膜炎 1例 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例 バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例
-------------	----------------------------	-------------------------	---	---	--	---

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点\*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。\*疾患により定点数は異なります。

### (1) 疾病別・週別発生状況(第29～34週、7/17～8/27)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	29週	30週	31週	32週	33週	34週	週					
	(7/17～)	(7/24～)	(7/31～)	(8/7～)	(8/14～)	(8/21～)	30	31	32	33	34	
インフルエンザ	0.08	0	0.04	0.02	0	0						
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	0.97	0.84	0.81	0.84	0.38	0.56						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.84	0.53	0.53	0.59	0.16	0.28						
感染性胃腸炎	1.56	1.09	1.25	1.00	0.78	1.22						
水痘	1.50	0.91	0.84	0.97	1.06	0.63						
手足口病	4.69	4.81	4.22	4.13	1.88	1.72						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.47	0.94	0.66	0.44	0.34	0.59						
突発性発しん	0.31	0.59	0.56	0.34	0.38	0.78						
百日咳	0.03	0	0	0	0	0						
風しん(三日はしか)	0	0	0.06	0	0	0						
ヘルパンギーナ	2.09	2.00	1.38	1.00	0.28	0.47						
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.56	0.63	0.53	0.34	0.53	0.47						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.14	0.43	1.43	1.00	3.57	0.86						
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0.14	0.29	0	0	0	0.14						
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	0	0	0	0						

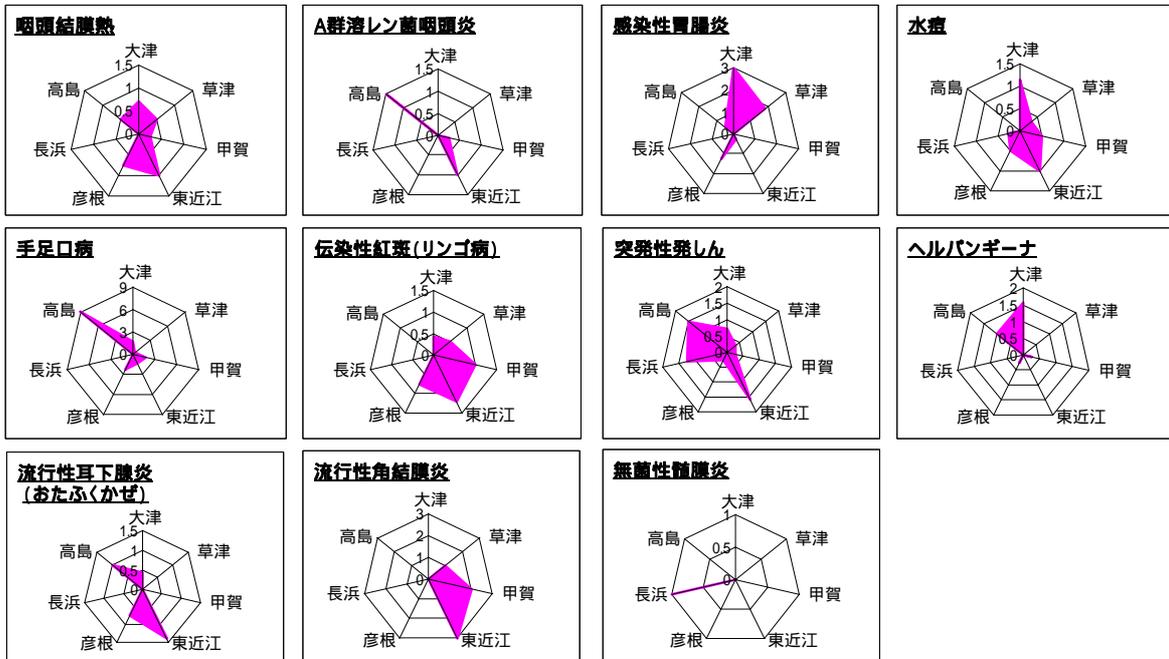
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第34週, 8/21~8/27)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)		
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0			
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0			
咽頭結膜熱	0.56	0.71	0.50	0.25	1.00	0.75	0	0.50	■		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.28	0	0	0.25	1.00	0	0	1.50	■		
感染性胃腸炎	1.22	3.00	1.83	0	0.25	1.25	0	0.50	■		
水痘	0.63	1.14	0.33	0.50	1.00	0.50	0.25	0	■		
手足口病	1.72	1.71	0.33	1.75	1.40	2.25	0	9.00	■		
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.59	0.43	0.50	1.00	1.20	0.75	0	0	■		
突発性発しん	0.78	0.71	0.33	0.25	1.60	0.25	1.25	1.50	■		
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0			
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0			
ヘルパンギーナ	0.47	1.57	0	0.25	0	0.25	0	1.00	■		
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0			
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.47	0.43	0	0	1.40	0.75	0	1.00	■		
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
流行性角結膜炎	0.86	0	1.00	2.00	3.00	0	0	0	■		
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	■		
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0			
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0			

■ は定点当たり患者数が先週より増加、 ■ は定点当たり患者数が非常に多い状態

0 0.5 1 1.5 2  
定点当たり患者数(人)

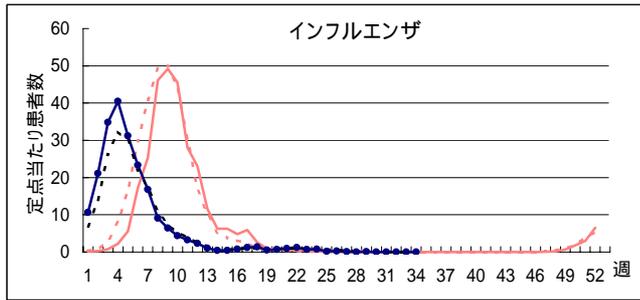
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



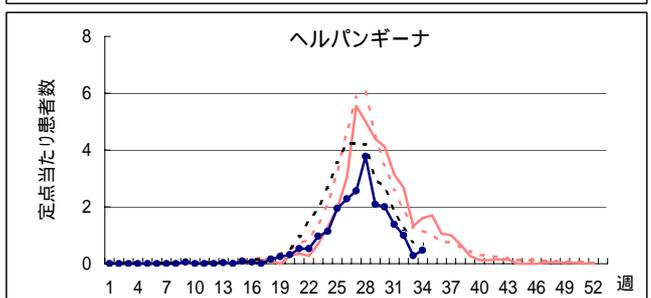
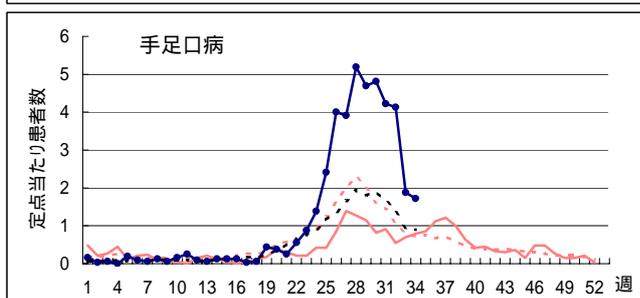
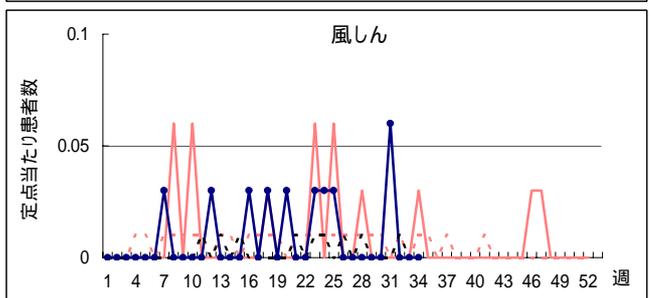
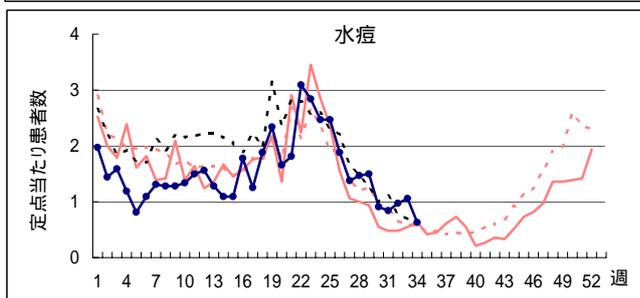
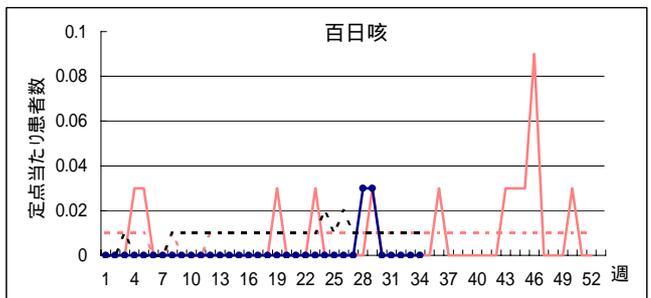
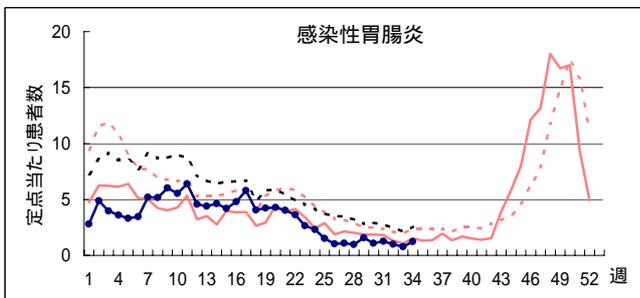
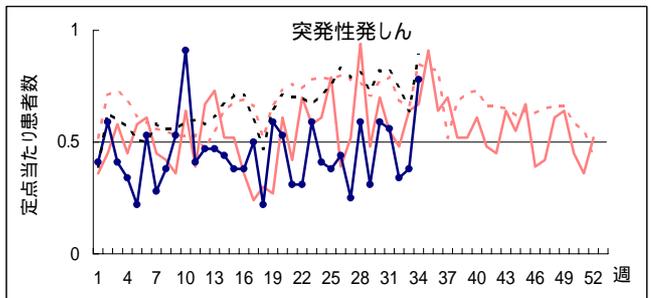
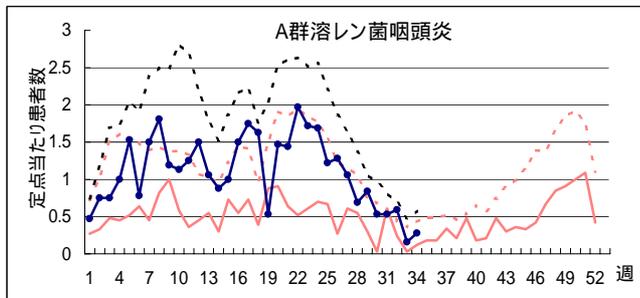
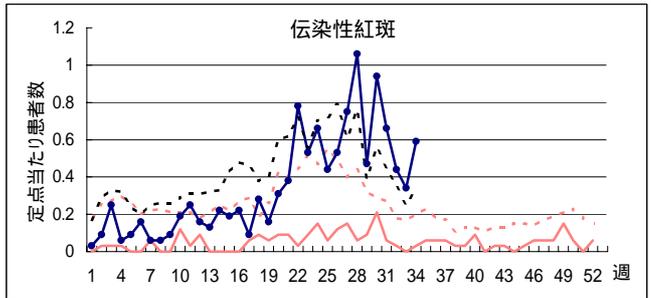
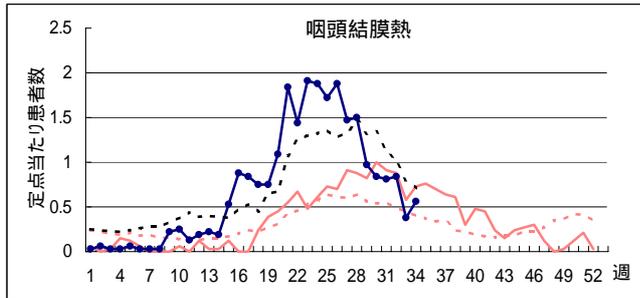
今週の発生状況：保健所管内別定点当たり患者数

- 咽頭結膜熱-----甲賀、東近江および彦根で先週よりやや多くなっています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎----甲賀、東近江および高島から報告があり、県全体としては先週よりやや多くなっています。
- 感染性胃腸炎-----大津および草津で先週よりかなり多くなっています。
- 水痘-----草津以外で先週より減少または変化なしとなっています。
- 手足口病-----県全体としては減少していますが、高島で多い状態が続いています。
- 伝染性紅斑-----草津、甲賀および東近江で先週より多くなっています。
- 突発性発しん-----東近江、長浜および高島で先週より増加しています。
- ヘルパンギーナ-----大津で先週よりかなり多くなっています。
- 流行性耳下腺炎-----東近江で先週よりかなり多くなっています。
- 流行性角結膜炎-----先週非常に多かった甲賀では急減していますが、東近江からの報告がやや多くなっています。
- 無菌性髄膜炎-----長浜から報告されています。

# 疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第34週、H18.1.2～H18.8.27)



H17 〔 滋賀 (solid red line)  
 全国 (dotted red line)  
 H18 〔 滋賀 (solid blue line with dots)  
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第34週、H18.1.2～H18.8.27)

H17 { 滋賀 ————  
全国 - - - - -

H18 { 滋賀 ●——●  
全国 .....

